

## 平成 19 年 2 月 9 日から平成 27 年 11 月 24 日に FDG-PET/CT 検査を受けた方へ

### 研究実施のお知らせ

研究の題名：FDG-PET/CT による膵癌の予後予測についての検討

研究期間：研究機関の長の許可日～平成 30 年 3 月 31 日

研究責任者：山梨大学医学部放射線医学講座 准教授 本杉 宇太郎

山梨大学放射線科では、平成 19 年 2 月 9 日から平成 27 年 11 月 24 日までの期間に、静岡県立総合病院で FDG-PET/CT 検査を受けた患者さんを対象に、「FDG-PET/CT による膵癌の予後予測についての検討」について検討する研究を行います。この研究は、山梨大学医学部倫理委員会の審議に基づき、医学域長の許可を得て実施するものです。

#### 【研究の目的と意義について】

FDG-PET/CT でえられる SUVmax は悪性腫瘍を有する患者の予後予測に有用であることが知られています。膵癌は予後の悪い腫瘍として知られており、根治的な治療は手術しかありません。適切な治療を選択するうえで、予後予測は重要です。手術可能例において、術前の検査(腫瘍マーカー、CT 所見、FDG-PET/CT 所見、TNM 因子、組織型)から予後予測が可能であるか検討を行います。

この研究の目的は、PET/CT によって切除可能膵癌の予後予測が可能であるか検討することです。

#### 【研究の方法について】

対象となる患者さんは、静岡県立総合病院で膵腫瘍の疑いにて FDG-PET/CT を受け、手術が施行され、病理にて浸潤性膵管癌と診断された患者さんを対象とします。ただし、術後経過観察中にフォローアウトした患者さんは除外します。

この研究に必要な FDG-PET/CT 検査で得られた SUVmax や、その他の患者さんのデータはカルテから取り出しますので、患者さんにあらためてお願いすることはありません。

主任研究者は試験等実施に係わる文書・データを保存し、所定の期間(研究発表後 2 年)後に個人情報に注意して破棄します。データはワークステーション内に保存されます。データへのアクセスにはパスワード入力が必要であり、セキュリティ面でも保護されます。

#### 【個人情報の保護について】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

#### 【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮

なく担当医師にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は以下の連絡先までお申し出ください。

**【問い合わせ等の連絡先】**

山梨大学医学部放射線医学講座

医員 大宮 慶恵

電話 055-273-1111（内線：2382）

（対応可能時間 平日 9：00～17：00）